

## 札幌市円山動物園基本計画の主な見直し内容

基本計画は概ね順調に進捗し、入園者数も順調に増加しており、基本計画の方向性に誤りはなかったものと判断しています。一方、長引く景気の低迷、原油価格の高騰等の社会経済環境の変化、環境配慮型社会への移行が一層進展しているなど、動物園の運営を巡る状況は変化しています。以上のことから、基本計画は大きく変更せず、マイナーチェンジを実施します。

## 第1章 円山動物園の役割と行動指針

## 1 札幌市の環境教育の拠点としての役割

【成果指標】・・・環境教育プログラム 年間 10 本実施・満足度 80%

## 【行動計画】

- 環境教育を推進するため、大学等の専門機関と連携を図りながら、最新の情報に基づく環境教育プログラム等を実施します。
- 園内施設での自然エネルギー活用を進め、動物科学館で集中的に展示し、解説します。

## 2 北海道・北方圏の生物多様性確保の基地としての役割

【成果指標】・・・保護した猛禽類を年間 3 羽放鳥

## 【行動計画】

- 自然界から保護した猛禽類について、保護・放鳥実績をつくとともに、繁殖生理についての研究を行います。〔500 千円/年〕
- 新たにシマフクロウの飼育を行い、繁殖を目指します。
- アジアゾーン建設に合わせ、ユキヒョウ及びレッサーパンダを複数ペアで飼育し、絶滅危惧種の繁殖を目指します。〔8,000 千円〕

## 3 札幌市の施策のショーウィンドウとしての役割

【成果指標】・・・施策理解度 80%

## 【行動計画】

- 円山動物園を「札幌市の施策のショーウィンドウ」としての役割を果たす施設と明確に位置付け、関係部局と連携しながら、動物園を活用したイベント等を展開します。
- 生き生きとした高齢化社会のメッセージを発信するイベントを実施します。〔2,000 千円〕
- 市民芸術文化のイベントとして、「写真会」、「写真撮影講習会」、「音楽祭」等のイベントを新たに実施します。
- さっぽろ雪まつり期間に、スノーフェスティバルを開催し、園内ににぎわいを創出することによって、札幌市の冬の魅力を高めます。〔4,000 千円〕
- ガイドボランティアについて、研修体制を整備し、レベルアップを図り、ガイドボランティアによるツアー受入れの充実を図ります。
- 公共交通の利用を推進するイベントを新たに実施します。

## 4 「わたしの動物園」という視点からの行動

【成果指標】・・・アニマルファミリー20,000 人（市民の 1%）

## 【行動計画】

- アニマルファミリー制度について、制度の見直しを図り、積極的に展開します。
- 「みんなのドキドキ体験」は、定番メニューの拡充・内容充実を図ります。
- 獣舎デザイン、園内サイン等について大学等と共同研究を実施します。〔2,000 千円〕
- 市民が長年、円山動物園に親しみをもって来園することができるよう、円山動物園でしか得られないものを定期的に作成・発行すること等を検討します。

## 5 生物多様性の確保に向けた行動

【成果指標】・・・体験プログラムを年間 10 本実施

## 【行動計画】

- オオムラサキ・プログラム及びニホンザリガニ・プログラムについて、「動物園の森復元プロジェクト」として、オオムラサキ等の生息環境を整備します。また、動物園の森に生息する動植物を調査し、資料化します。
- 大学等との連携により、動物園の森において生物多様性の大切さを学ぶ体験プログラムを実施します。〔500 千円/年〕

## 6 自然豊かな円山エリアの中核施設としての行動

【成果指標】・・・誘導サインのリニューアル・街歩きイベントの継続実施

## 【行動計画】

- 円山エリアの総合的な交通対策として、公共交通の利用を促進するとともに地下鉄円山公園駅から動物園までの来園ルートや誘導・案内サインについて検討・充実を図ります。
- 円山川について、地域住民や関係部局と協議し、自然を取り戻すための取組を行います。

## 第2章 経営戦略とソフト事業

## 7 持続可能な経営戦略

【成果指標】・・・年間入園者数 100 万人・経常的収支の均衡・経常的支出 10%減（H17 比）

## 【行動計画】

- 入園者数 100 万人を目指し、冬期間も楽しむことができるよう、施設整備やにぎわいの演出を行うとともに、冬の動物園開園を積極的に PR します。
- 経常的収入拡大に向け、寄附金収入の拡大を図るとともに、アフリカゾーンのオープン時期を目安として、入園料の見直しを行います。動物園の魅力アップのため基金の創設を検討します。
- 施設新築、来園者数の増加等の経費増加要素を考慮し、経常的支出の削減について、平成 17 年度比で 10%削減を目指します。

## 8 ソフト事業の展開

【成果指標】・・・イベントの満足度 80%

## 【行動計画】

- イベント、ホームページ、園内フラッグ等で季節感を感じられるよう工夫します。
- 夜の動物園の日数増加を検討します。
- 冬の動物園の話題性を確保するため、園内に大規模なシンボルツリーを設置します。
- 宿泊体験のための施設整備について検討します。
- ホームページ等での動画配信や駅前地下歩行空間等で映像コンテンツを利用したプロモーションを実施するとともに、ライブ映像の配信について検討します。
- 総合学習等の授業での活用を考慮した教育メニューや教材ワークブックを公開するとともに、内容の充実を図りつつ、各学校へ積極的に PR し、活用を推進します。

## 第3章 施設整備と動物管理

## 9 施設整備と動物管理

【成果指標】・・・新施設・展示の満足度 80%

## 【行動計画】

- 園内樹木の樹木取扱い基準を策定し、樹木診断に基づき計画的に管理するとともに、施設整備に合わせて植樹を実施します。〔1,000 千円/年〕
- 世界の熊館を改修し、ホッキョクグマの繁殖基地としての役割を果たすと同時に、新たに第二ホッキョクグマ・アザラシ館を建設します。〔2,272,500 千円〕
- 猛禽類について、繁殖技術の確立のため、繁殖・研究棟を建設します。〔44,000 千円〕
- アジアゾーン建設に合わせ、各動物舎に薄型ディスプレイを配置し、各動物の情報及び世界の動物園での状況、自然界での状況等を提供します。〔8,000 千円〕
- 動物達の共存や食物連鎖を伝える施設として、アフリカゾーンを建設します。〔1,637,000 千円〕
- モンキーハウスについて、アジアゾーンへの動物の移動に合わせて展示スペースを拡大します。〔62,000 千円〕
- サル山について、生態を間近で観察できるよう全面改修します。〔123,178 千円〕
- 熱帯鳥類ゾーンについて、南米種を中心に展示の充実を図るとともに、来園者がゆったりと憩えるよう全天候型・開放型施設の活用を検討します。〔1,000 千円〕
- ふれあいゾーンについて、「ふれあい教室」の充実を図ります。〔500 千円/年〕
- 動物科学館について、骨格標本・剥製標本の分類整理等を行います。〔8,000 千円〕
- 各トイレにジェットタオルを設置、身体障がい者用トイレの建設等を進めます。〔53,921 千円〕
- イベント・休憩のための施設として、野外ステージを整備します。〔193,930 千円〕
- コンビニ・レストラン等の各店舗について、利用者アンケートによる運営の改善を図ります。
- 園内交通について、交通方式、運営方法等を含め、調査検討します。
- 第一駐車場の案内サインの整備を行うとともに、建設費償還後の駐車場料金について検討します。また、南側入園口の活用の可能性について調査検討します。〔●千円〕
- ゴウの導入について、獣舎建設・維持管理費用を提示した上で市民アンケートを実施し、導入の是非を判断します。導入する場合には、基本計画を策定します。〔24,000 千円〕

※ [ ] 内の経費は、各事業の実施にかかる臨時的経費を計上している。